

日本カリキュラム学会

第33回名古屋大学Web大会プログラム

2022年7月9日（土）～7月10日（日）

第33回大会実行委員会

〒464-8601 名古屋市千種区不老町
名古屋大学大学院教育発達科学研究科
（委員長 松下晴彦）

E-mail : jscs33nagoya@educa.nagoya-u.ac.jp

学会HP : <http://jscs.b.la9.jp/>

日本カリキュラム学会

第 33 回名古屋大学 Web 大会プログラム

◆ 第 1 日 2022 年 7 月 9 日 (土)

10 : 00

課題研究 I いま、なぜ教育に SDGs なのか	課題研究 II グローバル化時代の東アジアに おける教師教育カリキュラム・ 教育方法の開発 Development of Teacher Education Curriculum & Instruction in the Global Era of East Asia
-----------------------------	--

12 : 00

昼食

13 : 00

自由研究発表 I

15 : 00

休憩

15 : 30

公開シンポジウム

教育の目的とカリキュラムの編成原理

17 : 30

◆ 第 2 日 2022 年 7 月 10 日 (日)

10 : 00

自由研究発表 II

12 : 00

休息・昼食

12 : 45

総会

13 : 20

休憩

13 : 30

課題研究 III
カリキュラムの研究・開発の
専門性を育むカリキュラム
— 大学院と現場の育成論 —

課題研究 IV
カリキュラムの
『不易と流行』を語る III
— 学校経営からみた
カリキュラム研究 —

15 : 30

休憩

15 : 45

自主企画セッション

17 : 15

共催： 名古屋大学大学院教育発達科学研究科

大会参加要領

1. 開催方法

Zoom を用いたオンラインで開催します。大会に参加するためには事前に Zoom のアプリをインストールする必要があります。Zoom ミーティングの URL 等の連絡は、大会参加申込手続きの際に記入したメールアドレスに 6 月下旬にお送りする予定です。

2. 大会参加申込

事前に参加申込が必要です。 学会ホームページ上の大会参加申込フォームからお申し込みください。6月15日（水）締切です。

3. 大会参加費

- ・次の通りです。会員サービス向上のため、正会員・学生会員の大会参加費を例年よりも安く設定しました。一人でも多くの方のご参加をお待ちしております。
- ・大会参加費は 6 月 15 日（水）までにお振り込みください。 お振り込みいただく口座名義・口座番号は、大会参加申込いただいた際の返信メールに記載されています。
- ・大会参加費の振込先は参加申込業務委託先の「株式会社コムラ」名義の口座となります。

大会参加費	正会員	2,000 円
	学生会員	1,000 円
	臨時会員	3,000 円

4. 自由研究発表・シンポジウム・課題研究・自主企画セッションについて

- ・マイクをミュート（消音）にしてご参加ください。
- ・自由研究発表・シンポジウム・課題研究の発表要旨は、大会ホームページに掲載されています。
- ・自由研究発表・シンポジウム・課題研究・自主企画セッションの発表資料は、大会ホームページに掲載されています。ただし、発表の中には発表資料がないものもあります。
- ・資料のお取り扱いには十分ご注意ください。

5. 公開シンポジウムのみのお申込

シンポジウムは公開で実施します。シンポジウムのみのご参加の方は、無料です。事前に学会ホームページのリンクからシンポジウム参加者登録を行なってください。

6. 問い合わせ先（大会事務局）

日本カリキュラム学会 第33回大会実行委員会

住所：〒464-8601 名古屋市千種区不老町

名古屋大学大学院教育発達科学研究科 柴田好章

E-mail： jscs33nagoya@educa.nagoya-u.ac.jp

※ご不明な点等につきましては、E-mailにて実行委員会までお問い合わせ願います。

自由研究発表要領

1. 発表時間

自由研究発表の時間は、原則として次の通りです。

個人研究発表	発表 20 分	質疑討議 5 分	(計 25 分)
共同研究発表	発表 40 分	質疑討議 10 分	(計 50 分)

2. 発表中止の場合

発表を取りやめる場合は、必ず事前に大会実行委員会まで E-mailにてご連絡ください。なお、発表中止にともなう発表時間の繰り上げは行いません。

第1日（7月9日）10:00～12:00

課題研究 I

いま、なぜ教育に SDGs なのか

近年、SDGs、すなわち持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）に対する社会的関心が急速に高まっている。すでにご存じのように、SDGsとは、2030年までに持続可能でより良い世界を築こうと世界中の国々がめざすとしている17の国際目標であり、貧困、教育、ジェンダー、エネルギー、イノベーションなど17の国際目標の下に169のターゲット、231の指標が定められている。

すでに多くの学校においてSDGsを扱った教育活動が展開されており、大学においてもSDGsを大学の理念レベルから個々の授業レベルまで様々な反映させた取り組みがみられるようになった。他方で、SDGsの17のゴールは、上記に挙げた以外にも気候変動や海洋資源、経済成長と雇用、持続可能な消費と生産、平和など極めて多岐にわたるものである。そのため、具体的な個々の取り組み自体も多様で、同列に並べて論じることが難しいのも事実である。

本課題研究では、多岐にわたる個別の取り組みについて「どのように実践するか」というミクロな観点からではなく、SDGsを意識した教育活動が教育や学校教育という営みに対してどのような影響をもたらすかというマクロな観点から議論をおこないたい。

<発表者>

- ・SDGsの視点から見る今後の教育の在り方
及川 幸彦（奈良教育大学）
- ・学校現場と教員養成教育にとってのSDGs
中澤 静男（奈良教育大学）
- ・朝日小学生新聞・朝日中高生新聞等の取り組みから
高橋 宏輔（朝日学生新聞社）

<指定討論者>

上地 完治（琉球大学）

<司会・コーディネーター>

北尾 悟（奈良女子大学附属中等教育学校）
上地 完治（琉球大学）

第1日(7月9日) 10:00~12:00

課題研究II

グローバル化時代の東アジアにおける
教師教育カリキュラム・教育方法の開発

**Development of Teacher Education Curriculum & Instruction
in the Global Era of East Asia**

(完全同時通訳付・日英両語どちらでも参加可能)

本シンポジウムの目的は、Ed.D.プログラムの校長教育を含む、学部・修士課程における「現職教員および教員養成課程」のための教師教育カリキュラム/プログラムを国際的にまた比較教育的に分析することである。

また、各学校レベルでの教員養成(授業研究、カリキュラム・マネジメントの観点から)、教育委員会と大学の連携方針についても検討する。

最後に、「教育理論と実践の統合」という先進的な考え方をアクションリサーチの視点から議論し、ヤングリーダー、ミドルリーダー、トップリーダーという各育成段階に関する教師教育・教員養成システムについて考察する。

The symposium's purpose is internationally and relatively to analyze teacher education curricula/programs for "in-service & pre-service teachers" at the undergraduate and master's programs, including principal education of Ed.D. program.

Also, it will examine teachers' professional training at the individual local school level (i.e., from the perspective of lesson studies and curriculum management) and the partnership policies between the Board of Education and universities.

Finally, the symposium will consider the teacher education and teacher's professional training system, at the young leaders, middle leaders, and top leaders' developmental levels, through discussions regarding our advanced idea of "integration between educational theories and practice," from action research perspectives.

Presenters

Mohammad Reza Sarkar Arani (Nagoya University)

Nguyen Nam Phuong (The Hanoi National University of Education)

Chi-Keung Eric Cheng (The Education University of Hong Kong)

Coordinator & Chairperson

Tetsuo Kuramoto (Shizuoka University of Art and Culture)

第1日目(7月9日) 13:00~15:00

司会は五十音順

自由研究 I-1

司会 倉本 哲男(静岡文化芸術大学)
緩利 誠(昭和女子大学)

- 13:00 担任システムと自律する力との関係性
ー複数学年複数担任制の実践を通してー
西田 隆之(丹波市立中央小学校)
- 13:25 児童の資質・能力の育成にむけた働き方改革 ー教員の業務と意識
の変容をもたらす小学校の新たな組織を手がかりにー
陸奥田 維彦(大阪教育大学)
- 13:50 経験と学問をつなぐカリキュラム構想
前場 裕平(香川大学教育学部附属高松小学校)
- 14:15 学びのサイクルに準拠したカリキュラムデザインに対する教師の
認識
木村 優(福井大学)

(全体討論 14:40~15:00)

自由研究 I-2

司会 竹川 慎哉(愛知教育大学)
田村 知子(大阪教育大学)

- 13:00 国際バカロレア中等教育プログラム (MYP) で学ぶ生徒の評価観
についての一考察
有馬 実世(お茶の水女子大学大学院)
- 13:25 ニュージーランドにおける後期中等教育修了資格と探究的な学習
奥田 久春(三重大学)
- 13:50 教育魅力化に取り組む X 高校における探究的な学びを軸とした普
通科再編への実践
○松尾 奈美*(島根大学)
○宮本 勇一(広島大学)

(全体討論 14:40~15:00)

*印: 優秀発表賞候補者

第1日目(7月9日) 13:00~15:00

司会は五十音順

自由研究 I - 3

司会 岡部 善平(小樽商科大学)

二宮 衆一(和歌山大学)

- 13:00 1957年版職業・家庭科学習指導要領の成立
ー社会科、職業指導、職業・家庭科の関係ー
丸山 剛史(宇都宮大学)
- 13:25 大学生の認識するキャリア成熟と職業未決定の状況
ー医療・福祉系大学と一般大学の学生との比較ー
○金子 あけみ(東京医療保健大学)
衣川 さえ子(東京医療保健大学)
- 13:50 国立高専機構モデルコアカリキュラム(MCC)に関する考察2
ー地域性や特徴を生かした個別的・個性的展開に焦点を当ててー
田上 哲(九州大学)

(全体討論 14:15~15:00)

自由研究 I - 4

司会 遠藤 貴広(福井大学)

澤田 稔(上智大学)

- 13:00 社会科カリキュラムにおける総合性の考察
ー高等学校における歴史学習の視点からー
堀田 貴之(愛知県立碧南工科高等学校)
- 13:25 高次の概念を教育目標化する歴史カリキュラムの国際的な新潮流
ー「知識の転回」を踏まえた二次的概念・三次的概念のスタンダード化ー
玉井 慎也(広島大学大学院)
- 13:50 コンピテンシー・ベースのカリキュラム開発
ーCBFCLC 開発の実際ー
○兵藤 清一*(愛媛大学)
○片山 裕吾(高知県立高知北高等学校)

(全体討論 14:40~15:00)

*印：優秀発表賞候補者

第1日目（7月9日）13:00～15:00

司会は五十音順

自由研究 I -5

司会 生澤 繁樹(名古屋大学)

上地 完治(琉球大学)

- 13:00 道徳科教科書のカリキュラム編成に関する一考察
中野 真悟*(刈谷市立朝日小学校)
- 13:25 ネル・ノディングズの教育思想における「対話」の意義
ー論争問題の位置づけに着目してー
渡部 裕哉*(東京大学大学院)
- 13:50 持続可能な社会に求められる道徳カリキュラムの考察
作田 澄泰(九州女子大学)
- 14:15 当事者として社会正義問題と向き合うためのカリキュラム開発過程と方略
ー高校公民科での実践を通してー
久保 美奈(広島大学大学院)

(全体討論 14:40~15:00)

自由研究 I -6

司会 根津 朋実(早稲田大学)

森 久佳(京都女子大学)

- 13:00 シカゴ大学時代のデューイの思想における適応を促すカリキュラム開発の倫理的基盤とその実践的展開
中村 仁志*(岡崎女子大学)
- 13:25 1920年代のウィネトカ・プランにおける評価研究
ー教育相談部の活動に注目してー
宮野 尚(日本学術振興会特別研究員)
- 13:50 E.W.アイズナーによるカリキュラム開発論の検討
ー「教育的想像力」概念に着目してー
岡村 亮佑*(京都大学大学院)
- 14:15 政治教科の形成過程の研究
ーオーストリア, プロイセン, バイエルンの事例の比較検討ー
近藤 孝弘(早稲田大学)

(全体討論 14:40~15:00)

*印：優秀発表賞候補者

第1日（7月9日）15:30～17:30

シンポジウム

教育の目的とカリキュラムの編成原理

社会的分業、科学主義、資本主義によって成り立ってきた近代が新たな局面を迎えつつある。グローバル化は近代の消失点となり、PISA 型コンピテンシーの能力観と新自由主義がカリキュラム編成の原理となつて多くの国の教育改革が行われた。その対応に追われた 20 年を振り返り、見落とされてきた視点とはどのようなものだったのか。私たちにはどのような選択肢があるのか。次に来る新しい時代の社会と教育のイメージを描きながら、日本の教育の目的とは何か、カリキュラムの編成原理とは何か、今一度これらの根源的な問題を改めて問い直したい。カリキュラムの編成原理を問うことは、教育目的とその根底をなす価値観や思考法、知識のあり方、知識伝達の方法をも考え直すことにつながる。

「改革は復古の形を取ってやってくる」ことは古今の歴史から私たちが学んできたことである。そして、「革新（イノベーション）は既存のもの新たな組み合わせから生まれる」ことは経済のみならず、思想や芸術など多様な分野に共通して見られる現象である。改革における「復古」は決して古いものの「再現」ではなく、私たちが持っている「既存のもの」を思い起こさせ、新たな価値づけを行って現状の突破口となり創造を助けるものである。

本シンポジウムでは、登壇者として江戸時代の思想と学びの研究者であり教育史がご専門の辻本雅史氏と、本学会の創設に関わり、カリキュラムを学問分野として整えるとともに長年カリキュラムの編成に関わってこられた安彦忠彦氏をお迎えし、江戸時代の思想、価値観、学びを通して、「<近代の知>を再生産してきた学校教育の知」とその伝達方法・メディア、それらの変遷と社会的背景を再考し、カリキュラム編成の精査につなげることで、次の時代のカリキュラムの編成原理をフロアとともに考えたい。

<登壇者>

・歴史学の視点から－近代学校を超えて－

辻本 雅史（中部大学フェロー・京都大学名誉教授）

・来たるべき時代の教育目的とカリキュラムの編成原理

安彦 忠彦（名古屋大学名誉教授）

<司会>

渡邊 雅子（名古屋大学）

生澤 繁樹（名古屋大学）

<コーディネーター>

渡邊 雅子（名古屋大学）

第2日目（7月10日）10:00～12:00

司会は五十音順

自由研究Ⅱ-1

司会 村川 雅弘(甲南女子大学)

高橋 亜希子(南山大学)

- 10:00 持続可能なカリキュラム開発の在り方
ー附属高松中学校を事例としてー
小野 智史(香川大学教育学部附属高松中学校)
- 10:25 総合的な探究の時間のカリキュラム開発経験と学校組織開発の諸
関係 ー高等学校教員を対象とする質問紙調査の結果からー
○緩利 誠(昭和女子大学)・安藤 福光(兵庫教育大学)
- 10:50 高大接続カリキュラムの開発を通じた高校生の「飛躍知」育成に関
する検証
ー高大接続文理統合探究プログラム「PICASO」を事例にー
藤井 正太(奈良女子大学附属中等教育学校)
- 11:15 令和3年度研究開発学校の研究課題について
磯田 文雄(花園大学)

(全体討論 11:40~12:00)

自由研究Ⅱ-2

司会 西岡 加名恵(京都大学)

吉富 芳正(明星大学)

- 10:00 高等学校マネジメントにおける School Research
Administrator(SRA)の組織確立 ーURA 制度の概念輸入から考える
高等学校の新たな研究マネジメントー
木村 友大(大阪府教育センター附属高等学校／大阪教育大学)
- 10:25 カリキュラムの視点にもとづく授業研究に関する学術的動向
○島田 希(大阪公立大学)・木原 俊行(大阪教育大学)
- 10:50 カリキュラム・マネジメントを通じたプロフェッショナル・キャピ
タル構築に関する研究 (その2)
ープロフェッショナル・キャピタルを構築した事例校分析ー
○千々布 敏弥(国立教育政策研究所)
○田村 知子(大阪教育大学)・倉本 哲男(静岡文化芸術大学)

(全体討論 11:40~12:00)

*印：優秀発表賞候補者

第2日目（7月10日）10:00～12:00

司会は五十音順

自由研究Ⅱ-3

司会 唐木 清志(筑波大学)

草原 和博(広島大学)

- 10:00 多文化共生社会の実現を目指したカナダの教育に関する研究
ーオンタリオ州の社会系教科カリキュラムの分析を通してー
周 星星(岡山大学大学院)
- 10:25 MBacc における汎用的能力の育成
ー類似のバカロレア型教育モデルとの比較を通してー
田中 孝平*(京都大学大学院/日本学術振興会特別研究員)
- 10:50 反照的均衡としてのモデレーション
ー熟議的コミュニケーションとしての評価の実践基盤ー
遠藤 貴広(福井大学)

(全体討論 11:15～12:00)

自由研究Ⅱ-4

司会 金馬 国晴(横浜国立大学)

富士原 紀絵(お茶の水女子大学)

- 10:00 横井曹一における教科統合に関する思想形成
ー大正期の美術教育研究ネットワークからの影響に注目してー
望月 ユリオ(東京学芸大学大学院)
- 10:25 千葉命吉の成績考査改革論
ー大正新教育期の実践家による教育評価論の形成過程ー
橋本 美保(東京学芸大学)
- 10:50 明石市小学校カリキュラム委員会による戦後新教育カリキュラム
開発 ー及川平治のカリキュラム改造論を受け継いだ西口槌太郎
を視点としてー
大西 慎也(京都ノートルダム女子大学)
- 11:15 戦後初期における教育課程編成の組織・運営をめぐる実態
ー『戦後初期コア・カリキュラム研究資料集』を手がかりにー
鈴木 草宮駒*(名古屋大学大学院)

(全体討論 11:40～12:00)

*印：優秀発表賞候補者

第2日目（7月10日）10:00～12:00

司会は五十音順

自由研究Ⅱ-5

司会 石井 英真(京都大学)

田上 哲(九州大学)

- 10:00 教育委員会の指導主事を対象とした公開講座の開発
○伊藤 大輔(秋田県立大学)
倉本 哲男(静岡文化芸術大学)・磯部 征尊(愛知教育大学)
- 10:25 オンデマンド教材「総合的な学習の時間の指導法」の運用評価
―校種・専攻による受けとめ方の違いの分析から―
小柳 和喜雄(関西大学)
- 10:50 学びにおける自己変容と時間の実存論的考察
―本来的自己としての学びの可能性―
田本 正一(山口大学)
- 11:15 「意味のないこと」が教師に促す省察 ―隠れたカリキュラムへの
着目とインプロ（即興演劇）を通じた学び―
園部 友里恵*(三重大学)

(全体討論 11:40~12:00)

自由研究Ⅱ-6

司会 川地 亜弥子(神戸大学)

近藤 孝弘(早稲田大学)

- 10:00 天文シミュレーションソフト Mitaka を用いた天体授業の教育的
効果
橋本 美彦(中部大学)
- 10:25 思考力のカリキュラムとは何か
浅沼 茂(東京福祉大学)
- 10:50 英国における「言語意識 (Language Awareness)」アプローチの
多様化
小柳 亜季(京都大学大学院)
- 11:15 グローバル化におけるモンゴルの中高等教育カリキュラム改革
―国語教育の視点から―
Byambasuren Enkhgerel(名古屋大学)

(全体討論 11:40~12:00)

*印：優秀発表賞候補者

第2日(7月10日) 13:30~15:30

課題研究Ⅲ

カリキュラムの研究・開発の専門性を育むカリキュラム —大学院と現場の育成論—

今日、大学等の高等教育機関のみならず、幼稚園や小中高等学校の教育課程編成の裁量権が大きくなっている。その結果、カリキュラムに関する研究・開発(実践)を進める専門性を有した人材の育成が、これまでも増して要請されている。この課題に日本カリキュラム学会はいかに向き合っていけばよいのだろうか。

カリキュラムの研究・開発は、日本カリキュラム学会が刊行した『現代カリキュラム研究の動向と展望』の構成に象徴されるように、その内容は多岐にわたっている。本課題研究Ⅲでは、それを是としつつ、カリキュラムに関わる専門性の育成はどのような視点・フレームワークから可能となるのか、すなわち、「カリキュラム」の研究・開発のための「カリキュラム」のあり方を追究したい。

専門性を育む代表的な舞台として、本課題研究では、研究大学院、専門職大学院(教職大学院)、そして研究開発学校を取り上げる。これらの組織において、どのような主体が、何を目的にどのようなカリキュラムを計画し、どのような環境・道具を提供し、いかなる規範・文化が構築されているかについて共通理解を図る。さらに三者の異同に注目しながら、各舞台ならではの「カリキュラムの研究・開発の専門性を育むカリキュラム」の課題と、さらなる充実の方策・方向性を展望したい。

<発表者>

- ・研究者養成大学でカリキュラムを専門とする研究者を育てる
西岡 加名恵(京都大学)
- ・教職大学院でカリキュラムの視点をもった専門職者を育てる
木原 俊行(大阪教育大学)
- ・学校現場でカリキュラムの視点で考える実践者を育てる
田村 学(國學院大學)
黒岩 昭伸(長岡市立富曾亀小学校)
井手 司(福岡教育大学附属福岡小学校)

<指定討論者>

村川 雅弘(甲南女子大学)

<司会>

草原 和博(広島大学)

<コーディネーター>

草原 和博 ・ 木原 俊行

第2日(7月10日) 13:30~15:30

課題研究IV

カリキュラムの『不易と流行』を語るⅢ ー学校経営からみたカリキュラム研究ー

カリキュラムにかかわるキーワードに関して、その分野・領域の先輩研究者の方々に、その研究対象に対する思いや姿勢、配慮すべき事柄などを中堅・若手に語っていただく。それを受けて、中堅・若手研究者がその研究対象に関するかかわり方や抱負等を述べ、協議を通して研究的な示唆を得る。

前回大会は「学習指導要領に関連したカリキュラム研究の方法」、前々回大会では「学習指導要領改訂に対する研究者の関わり方」が、それぞれ論じられた。今年は、学校経営や「カリキュラムマネジメント」という視点から、テーマに迫りたい。

<発表者>

- ・学校経営・学校改善・カリキュラム開発

ーそれらの核としてのカリキュラムマネジメントー

中留 武昭(九州大学名誉教授)

- ・学校経営の研究・実践へのカリキュラム(・)マネジメント研究のインパクトと課題

大野 裕己(滋賀大学)

- ・被災地のカリキュラム改革からみた「カリキュラム・マネジメント」の課題

吉田 尚史(教職員支援機構)

<司会・コーディネーター>

富士原 紀絵(お茶の水女子大学) ・ 根津 朋実(早稲田大学)

第2日目（7月10日）15:45～17:15

自主企画セッションI（ラウンドテーブル）

ライティング（書くこと）の評価はどうあるべきか

—重要性と困難性のジレンマ—

ライティング（書くこと）の評価はどうあるべきなのだろうか。ライティング研究は、古代ギリシアにおける「説得の技術（テクネ・レトリケ）」、すなわち修辞学を淵源とし、修辞学は中世には「自由七科」の一つに数えられていた。2400年の歴史をもつ修辞学を背景としながら、ライティング評価は今なお論争的な問いであり続けている。その理由は、(1) ライティングが——特に、学術的・公的なコンテキストにおいて——人を評価する有効な手段として重用され続けてきたこと、(2) ライティングの評価は、一意に正しい手段と正答が存在しないために、評価を行うことが困難であることの二つに集約できる。これらライティング評価に固有な重要性と困難性のジレンマが、「ライティング（書くこと）の評価はどうあるべきか」という古くて新しい問いに、我々を固執させるのである。

本ラウンドテーブルでは、石田智敬、松下佳代氏、森本和寿氏の三名で、三者三様の立場からこの問いに挑む。まず、石田は、エッセイとしてのライティングの評価方法に関する学術的論争について俯瞰し、その現代的論点を提示する。松下氏は、「対話型論証」によるライティングの指導と評価について、両論併記主義（bothsidesism）の乗りこえという点から議論を展開する。森本氏は、ライティングの多様な形態を整理したうえで、その評価はどうあるべきかという視点から、論理的な思考と表現を行うものとしてのライティング（エッセイ）を対象化する。その後、発表者三名に指定討論者の川地亜弥子氏を加えて、「ライティング（書くこと）の評価はどうあるべきか」という問いを中心として討論を行い、今日におけるライティング評価のあり方を問いなおすことを試みる。

<企画者> 石田 智敬（京都大学大学院）

<発表者>

- ・エッセイ評価における現代的論争点を紐解く

石田 智敬（京都大学大学院）

- ・対話型論証によるライティングとその評価

——両論併記主義（bothsidesism）を越えて——

松下 佳代（京都大学）

- ・表現を起点とするライティング教育とその評価

森本 和寿（大阪教育大学）

<指定討論者> 川地 亜弥子（神戸大学）

<司会> 若松 大輔（弘前大学）

第2日目（7月10日）15:45～17:15

自主企画セッションⅡ（若手の集い）

カリキュラム研究者を目指す学生・大学院生の集い —With コロナの時代に若手会員はいかにカリキュラム研究に向き合ってきたのか—

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、大学院生などの駆け出しの研究者を取り巻く状況には大きな変化が生じている。学校現場や海外でのフィールドワークへのアクセスが難しくなるとともに、対面での学会を契機として生じる若手同士のつながりは希薄である。それでは、上述の変化の実態や困難を踏まえて、若手会員はいかにカリキュラム研究に向き合ってきたのだろうか。この問いを明らかにするためには、様々なフィールドでカリキュラム研究を行ってきた若手会員の研究環境の違いを可視化・共有する必要がある。

そこで、本セッションでは、各々異なった研究領域や研究手法に着手する3名の大学院生から、コロナ禍における各院生の研究活動の現状と課題を簡潔に提供する。その後、フロアの参加者を交えた研究交流を全体で行う。特に、フロアからの発言やチャットを用いながら、参加者が気兼ねなく語り合える会の雰囲気大切にしたい。このような活動を通じて、若手会員を中心とした研究コミュニティのプラットフォームを形成する機会としたい。

各大学の大学院生や教職大学院に所属する実践者などの若手会員をはじめ、現在は非会員である学部生・大学院生などにもぜひ気軽に参加いただければ幸いである。

※本自主企画セッションは、広報・若手育成委員会の後援を受けている。

<企画者>

早瀬 博典（筑波大学大学院） ・ 玉井 慎也（広島大学大学院）
鈴木 草宮駒（名古屋大学大学院） ・ 岡村 亮佑（京都大学大学院）

<発表者>（副題は当日発表予定）

- ・ 教科教育の視点から見た With コロナ時代の学習内容の変化
早瀬 博典（筑波大学大学院）
- ・ 教育方法の視点から見た With コロナ時代の授業研究の変化
岡村 亮佑（京都大学大学院）
- ・ 教育経営の視点から見た With コロナ時代の事例研究の変化
鈴木 草宮駒（名古屋大学大学院）

<司会>

玉井 慎也（広島大学大学院）

高校生のための

「探究」学習図鑑

- ◆A4判変形・上製・152ページ・図書館用堅牢製本
- ◆全ページオールカラー
- ◆定価6,600円(本体6,000円+税10%)
- ◆ISBN:978-4-7619-2832-2
- ◆NDC:370



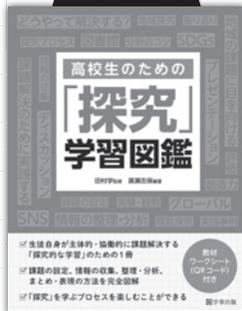
本書の特徴

全ページオールカラー

課題設定方法を
わかりやすく図解

情報の収集、整理・分析の
具体的な進め方を紹介

課題解決の実践、
まとめ・表現の
基本がわかる



「深い学び」に導くための
技法が満載

豊富な実践事例を紹介

教材につかえる
ワークシートが
ダウンロードできる
(QRコード付き)

監修/田村 学
編著/廣瀬 志保

高等学校で
「総合的な探究の時間」
が開始!

生徒が主体的・協働的に
「探究」を学ぶことを支援する
初めての図鑑刊行!

公共図書館、
学校図書館
に最適!

高校教育の「いま」がわかる雑誌

月刊高校教育

毎月13日発売



定価/
1,045円(税込)

年間誌代/
14,905円(税込)

※特大号1冊・
増刊2冊を含む

詳しくは、「学事出版」ホームページをご覧ください。ご注文もできます。 <https://www.gakuji.co.jp>

学事出版

千代田区外神田2-2-3

TEL03-3253-4626

FAX 0120-655-514

好評発売中!

現場「教育の現実」から学ぼうとした、大正新教育期における教育者たちの実践の記録から、カリキュラム・マネジメントという視点で「学級経営」「学校経営」に関する論考・文献を精選、復刻する初めての試み!

全10巻 ○体裁ⅡA5判・上製・総4,026頁
○編集・解説Ⅱ橋本美保・遠座知恵
○推薦Ⅱ天笠茂・佐藤学
全Ⅱ期・全3回配本 揃定価Ⅱ198,000円

大正新教育学級・学校経営重要文献選

〔編集復刻版〕

構成Ⅱ第1巻「お茶の水女子大学」/第2巻「奈良女子大学」/
第3巻「神戸大学」/第4巻「東京学芸大学」/第5巻「和光大学」/
ほか/第6・7巻「幼年教育1・2」/別冊「解説」

完結!

○体裁ⅡA4判2面付(第6巻・B5判/第7巻・A5判・上製・総約4,800頁) ○編集・解説Ⅱ太田素子・小玉亮子・福元真由美・浅井幸子・大西公恵
○推薦Ⅱ汐見稔幸・無藤隆
○全3回配本 揃定価Ⅱ162,800円

幼小接続資料集成

全7巻
別冊1

〔編集復刻版〕 幼児教育資料アーカイブ3

不二出版

〒112-0005 東京都文京区水道 2-10-10
TEL.03-5981-6704 FAX.03-5981-6705
URL <http://www.fujishuppan.co.jp>

各回分売可
内容見本・目録送付
価格税込(10%)

真正の評価 テストと教育評価の新しい科学に向けて

80・90年代英米の学校改革における教育評価の基進と役割を検証し、多様な測定のパラダイムによる真正の学びへの方法論を構築する。▼A5判上製 三三〇頁・五〇〇〇円

学校と生活を接続する ドイツの教育改革の理論と実践

70年代以降ドイツの学校教育改革を考究。教育という営為の両義的な発想を問い、多視点を活かす差異に基づく授業構想を提言する。▼A5判上製 三三六頁・四二〇〇円

言語教師教育論

境界なき時代の知る・分析する・認識する・為す・見る・教師
外国語・第三言語の教師教育に向けた包括的なモデルの根拠と本質を再考し、多様な言葉の営為のための教育の方向性を見出す。▼A5判上製 三三〇頁・四〇〇〇円

自律を旨とする教育とは何か 自然主義的な教育哲学の試み

教育目的として掲げられてきた自律概念をめぐる議論を概観。自律と他律を区別する意味や、それを実現するはたらきかけを検討する。▼四六判上製 二八八頁・四〇〇〇円

レヴィナスと教育学 語りをめぐる教育学の語りを問い直す

語りえない、知りえないことをいかに伝達しうるのか——レヴィナスの言語論や責任概念の思索を通してその倫理的含意を顧みる。▼四六判上製 二九〇頁・四〇〇〇円

教育のリーダーシップと シンナ・アーレント

ヘレン・M・ガンター 著
末松裕基 生澤繁樹 橋本憲幸 訳
英国公教育の現代化改革をもたらした全体主義的な状況による空想と捏造の危機を捉え、教育をめぐる〈活動〉する〈心〉の意味を探る。▼四六判上製 三二八頁・三〇〇〇円

学校づくりの概念・思想・戦略 教育における直接責任性原理の探究

石井拓児 著
戦後から現在に至る学校づくり概念の成立過程を法制度・課程計画・実践運動の面から考察し、その自主性の内実と意義を論じる。▼A5判上製 二四〇頁・四〇〇〇円

教室における政治的中立性 論争問題を扱うために

ダイアナ・E・ヘス 著
渡部竜也 岩崎圭祐 井上昌善 訳
私たちはどのように意見を交わしているか？学校教育の実証研究から、対立する主張を議論するあり方、公教育と民主社会の関係を探る。▼A5判上製 二四六頁・四五〇〇円

ハロルド・バラック 他著
渡部竜也・南浦涼介 岡田了祐
後藤賢次郎 堀田論 星瑞希 訳

田中怜著

B・クマワアディウエ
ル著／南浦涼介 瀬尾
匡輝 田嶋美砂子 訳

宮川幸奈 著

安喰勇平 著

ヘレン・M・ガンター 著
末松裕基 生澤繁樹 橋本憲幸 訳

石井拓児 著

ダイアナ・E・ヘス 著
渡部竜也 岩崎圭祐 井上昌善 訳



〒220-0044 横浜市西区紅葉ヶ丘 53 横浜市教育会館 3階
電話：045-261-3168 / FAX：045-261-3169 info@shumpu.com

*表示価格はすべて税別です

画一化する授業からの自律

スタンダード化・ICT化を超えて

子安潤 著 ●定価2420円 208頁
教育の画一化が、スタンダード化、そしてコロナ禍による急速な学校のICT化の下で拡大する事態に警鐘を鳴らす。

「大学における教員養成」の 日本的構造

岩田康之 著 ●定価3410円 208頁
教員養成に関わる諸アクター（中央政府、地方政府、養成機関等）の力関係＝「配置関係」に着目し、主に歴史的な視点と国際比較的な視角の双方から分析。

中等教育社会科教師の 専門性育成

荒井正剛 編著 ●定価2200円 160頁
「主体的・対話的で深い学び」や主権者意識の育成が求められる社会科教師。社会的現象を多面的・多角的に捉え、社会を鋭く見る眼など専門性を養う。

未来の社会を創る教職教養指針シリーズ

山崎準二・高野和子 編集代表

カリキュラム・マネジメントと教育課程

金馬国晴 編著 ●定価2200円 192頁

教科と総合の教育方法・技術

子安潤 編著 ●定価2200円 192頁

SDGsと学校教育

総合的な学習／探究の時間

—持続可能な未来の創造と探究

小玉敏也・金馬国晴・岩本泰 編著 ●定価2200円 200頁

国際バカロレア教育と教員養成

—未来をつくる教師教育

東京学芸大学国際バカロレア教育研究会 編 ●定価2530円 176頁

赤羽寿夫・佐々木幸寿・原健二・藤野智子 編著

学校ガバナンス改革と危機に立つ

「教職の専門性」

浜田博文 編著 ●定価3850円 240頁

SDGsカリキュラムの創造

—ESDから広がる持続可能な未来

田中治彦・奈須正裕・藤原孝章 編著 ●定価2200円 210頁

小学校社会科カリキュラムの新構想

—地理を基盤とした小学校社会科カリキュラムの提案

佐藤浩樹 著 ●定価2640円 200頁

教師のための教育学シリーズ

教師のための教育学シリーズ編集委員会 監修

教育課程論 第二版

山田雅彦 編著 ●定価2310円 208頁

教育方法とカリキュラム・マネジメント

高橋純 編著 ●定価2530円 200頁

〒153-0064 東京都目黒区下目黒3-6-1
http://www.gakubunsha.com

学文社

Tel 03-3715-1501(代) Fax 03-3715-1212
E-mail: eigyo@gakubunsha.com

月刊「教育展望」

毎月1日発行、A5判、64頁、定価493円（448円＋税）
2022年 特集

- 9月号 多様な子どもたちの学びの展開
- 7・8月合併号 指導と評価と目標の視点から学習評価を考える
- 6月号 学習意欲を高める教師の授業力
- 5月号 GIGAスクールの現状と課題
- 4月号 学校を問い直す
- 3月号 小学校高学年の教科担任制を考える
- 1・2月合併号 SDGs／ラーニング・コンパス2030
が描く教育の未来

2021年 特集

- 12月号 第50回教育展望セミナー テーマ別報告
- 11月号 第50回教育展望セミナー 全体会報告
- 10月号 子どもの安心安全を考える
- 9月号 通常の学級で学ぶ障害のある児童生徒への指導・支援
- 7・8月合併号 令和の時代の学級経営
- 6月号 改めて指導と評価の一体化を考える
- 5月号 令和の日本型学校教育の学校経営と教育活動の展望
- 4月号 「見方・考え方」を適切に働かせる学習指導について

「教育展望」臨時増刊

セミナー 研究討議資料

A5判、定価2619円（2381円＋税）

- No.54（第51回教育展望セミナー）
変革の時代の学校教育を展望するII
子どもが主体的に学びを深める学校教育の在り方
- No.53（第50回教育展望セミナー）
変革の時代の学校教育を展望する
「令和の日本型学校教育」をどのように進めるか

一般財団法人 教育調査研究所

（理事長 新井郁男）

〒135-0063 東京都江東区有明3-4-10 TFTビル西館
TEL：03-3520-2970 FAX：03-5579-6574
E-Mail：chouken@estate.ocn.ne.jp

戦後初期コア・カリキュラム研究資料集 第1回配本 東日本編 全3巻

【編集・解題】金馬国晴（横浜国立大学教授）／安井一郎（獨協大学教授）
【体裁】B5判・上製・約1,900頁／ISBN978-4-908823-38-1 C3337 【定価】本体90,000円＋税
【巻構成】第1巻：解題・資料一覧 北海道・東北・北関東 第2巻：東京・南関東 第3巻：北陸・甲信越・東海
戦後初期、1948年～1950年代に各地の教師が自主的に作成したカリキュラム冊子を厳選して編集復刻！！

戦後初期コア・カリキュラム研究資料集 第2回配本 西日本編 全3巻

【編集・解題】金馬国晴（横浜国立大学教授）／安井一郎（獨協大学教授）
【体裁】B5判・上製・約1,900頁／ISBN978-4-908823-60-2 C3337 【定価】本体90,000円＋税
【巻構成】第4巻：解題・資料一覧 近畿1（滋賀・京都・大阪・奈良・和歌山） 第5巻：近畿2（兵庫） 第6巻：中国・四国・九州
今や1冊しか残らない冊子の抜粋で、教職課程のコアカリキュラムとは違う各校の多彩な模索と表現を明らかに

戦後初期コア・カリキュラム研究資料集 第3回配本 附属校編 全3巻

【編集・解題】金馬国晴（横浜国立大学教授）／安井一郎（獨協大学教授）／溝邊和成（兵庫教育大学教授）
【体裁】B5判・上製・約2,000頁／ISBN978-4-908823-68-8 C3337 【定価】本体90,000円＋税
【巻構成】第7巻：解題・資料一覧 東日本（北海道・東北・関東・中部） 第8巻：西日本1（近畿1（京都・兵庫）） 第9巻：西日本2（近畿2・中国・四国・九州）

戦後初期コア・カリキュラム研究資料集 第4回配本 中学校編・附属校編 全4巻

【編集・解題】金馬国晴（横浜国立大学教授）／安井一郎（獨協大学教授）／溝邊和成（兵庫教育大学教授）
【体裁】B5判・上製・約2,200頁／ISBN978-4-908823-91-6 C3337 【定価】本体120,000円＋税
【巻構成】第10巻：附属校編補遺・境界編 第11巻：中学校編 東日本編1 第12巻：中学校編 東日本編2 第13巻：中学校編 西日本編
カリキュラム・マネジメントおよび生徒会・行事・学活などの特別活動、部活動、職業教育、キャリア教育などにも示唆あり。
■第5回配本（完結）全3巻 団体編2022年7月中旬発売予定。【定価】90,000円＋税 ISBN978-4-910672-10-6 C3337

クロスカルチャー出版

〒101-0064 東京都千代田区神田猿樂町2-7-6
TEL：03-5577-6707 FAX：03-5577-6708 <http://crosscul.com>

■呈内容見本

レリバンスの視点からの歴史教育改革論 二井正浩編著 二七五〇円	現代キャリア教育システムの日仏比較研究 京免 徹雄著 八二五〇円	米国社会科学成り立期 <small>における</small> シテイズンシップ教育の変容 斉藤仁一朗著 九九〇〇円	ウイネトカ・プラン <small>における</small> 教職大学院の成立過程 宮野 尚著 八二五〇円	地理歴史授業の国際協働開発と教師への普及 伊藤直之編著 四四〇〇円	社会科学教育へのケイ・パビリテイ・アプローチ 志村 喬編著 三三〇〇円	中等社会系教科教育研究 中平一義・茨木智志・志村喬編著 一九八〇円	近現代日本教員史研究 船寄俊雄・近現代日本教員史研究会編著 四九五〇円	概念カテゴリー化学習の理論と実践 新谷 和幸著 八二五〇円	世界史教育内容編成論研究 祐岡 武志著 七二五〇円	子どもの権利をまもるスクールロイヤー 松原信継・間宮静香・伊藤健治編著 二七五〇円	大学生のための中等社会科・地理歴史科・公民科概論 田部俊充・田尻信壹・小松伸之編著 二二〇〇円	アメリカ教育長職の役割と職能開発 八尾坂修編著 三三〇〇円
---------------------------------------	--	---	--	---	---	---	---	-------------------------------------	---------------------------------	---	---	-------------------------------------

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-34
TEL 03-3291-5729 FAX 03-3291-5757

風 間 書 房

https://www.kazamashobo.co.jp
E-mail pub@kazamashobo.co.jp (価格税込)

日本カリキュラム学会 第33回大会 プログラム

2022年7月9日～10日

名古屋市千種区不老町

名古屋大学 大学院教育発達科学研究科

日本カリキュラム学会第33回大会実行委員会

大会顧問：的場 正美 (東海学園大学)

〃 磯田 文雄 (花園大学)

委員長：松下 晴彦 (名古屋大学)

実行委員：渡邊 雅子 (名古屋大学)

〃 サルカール アラニ モハメッド レザ (名古屋大学)

〃 生澤 繁樹 (名古屋大学)

事務局長：柴田 好章 (名古屋大学)

個別最適な学びの 足場を組む。 みんな一緒に、 を 手放す



来たるべき学びの転換点、
それは——みんな一緒に、を手放すことなのかもしれない。
誰一人の育ちも取り残さない「個別最適な学び」をどう実現するか。
豊かな歴史と実践を訪ねるなかで、
先生方の疑問が解け、誰もが理論を持てる。
個別最適な学びの足場づくりに欠かせない1冊！

本書の内容

- 1章 「令和の日本型学校教育」と個別最適な学び
- 2章 近代学校の特質と個別最適な学びの源流
- 3章 学習研究の進展と個別最適な学び
- 4章 指導の個別化と学習の個性化
- 5章 学び方の得意と自己決定的学習
- 6章 環境による教育と学習環境整備
- 7章 未来に向けて

最新刊!

《著》奈須正裕（上智大学教授）
四六判／270頁／
定価2,200円（本体2,000円＋税10%）



ご注文は、小社、書店、ネット書店 まで。小社は送料無料で即日発送！（午後3時注文分まで・土日祝日除く）

WEBからのご注文なら早くてカンタン！

■ オンラインショップ： [教育開発研究所](#) [検索](#)



電話 03-3815-7041
無料FAX 0120-462-488

カラー図解 **よくわかる!**

教師を目指すための 高大接続のしくみ

林 裕子/監修著 竜田 徹/著

佐賀大学高大連携プロジェクトの一環で進めている「教師へのとびら」をもとに、未来の教師を育成するための高大接続のしくみについて解説するための図解本。



定価：1980円(税込) 978-4-487-81437-4

大学生のための教科書

中山芳一・西岡吉誠・八島京平/監修 大学生のための教科書編集委員会/編著

これからの時代に求められ、社会に出てからも幸せに生きられる「主体性2.0」といったスキルなど、大学生が卒業までに身につけたい能力を把握し、理想の自分像を見つけられる一冊。

▶ **主体性2.0に求められる3つの条件**

どんな私(主体)で
ありたいか

5つの行動特性
(非認知能力*)

自分を
コントロール

*好奇心、楽観性、冒険心、柔軟性、持続性

入学したら、
すぐに読もう!



定価：1650円(税込) 978-4-487-81487-9

真 学び方 情報活用能力が学びに生きる

GIGA スクール時代の学校

タブレット端末は
文房具!

自己調整を促し創造性を発揮するICTの活用

堀田龍也/監修 上越教育大学附属中学校/編著

いち早く生徒1人に1台の端末環境を整えた先進的学校、
上越教育大学附属中学校の実践事例を多数紹介。



定価：1760円(税込) 978-4-487-81439-8



お問い合わせは出版事業部 Tel:03-5390-7531 Fax:03-5390-7538
 中部支社 〒461-0004 名古屋市東区葵3-15-31千種ニュータワービル Tel:052-939-2722 Fax:052-939-2720
 ホームページ <https://www.tokyo-shoseki.co.jp> 東書Eネット <https://ten.tokyo-shoseki.co.jp>